(第二版)　(明治卅一年五月九日第三種郵便物認可)　昭和十六年十月十七日　(金曜日)　臺灣日日新報　第一万四千九百四十六號

臺灣昌新報

夕刊　十月十六日

殊勲甲二十八名
第十四回生存者論功行賞

【東京發同盟】一昨十五日午前十時から宮中に於て第十四回生存者論功行賞(勲一等功一級金鵄勲章授與)の御沙汰あらせられ十六日午前零時内閣發表となつた、うち功三中級の八勲章は陸海軍大臣より親授された、うち功三中級の八勲章は陸海軍大臣より親授された

殊勲甲(十八名)

功四小綬　大分　有働　眞壁　宮城
功五旭七　福島　西野　斎藤　埼玉

功四同　佐賀　高橋八十吉　東京
功三中綬　中佐　岩下　榮一　山梨
功五旭七　軍曹　渡邊　良雄　山梨
功六旭七　軍曹　畠山　榮太郎　神奈
功四同　伍長　伊東　正直　山梨
同　旭八　上長　河水　榮次　神奈
同　旭七　伍長　渡邊　乙吉　千葉
同　旭八　同　佐久間政治　同
功五旭七　軍曹　岡　武雄　東京
功六旭七　同　鈴木四三郎　福岡
功四同　中尉　今仁　充雄　東京
功五旭七　軍曹　村上　徳雄　北海
功四同　伍長　小林　正信　東京
功三中綬　中佐　町田　一二　兵庫
功四同　少佐　赤羽正太郎　東京
功三中綬　中佐　近藤　源次郎　北海
功四旭三　大尉　佐藤　徳　東京
功五旭七　軍曹　渡邊　良雄　山梨
功四同　少佐　小野　榮藏　神奈
同　同　吉川　巳三郎　東京
同　小綬　小原　善吾　東京
同　旭八　上長　松田　順一　宮崎

御差遣の勅使參向

淨域に遺族續々と參拜

【東京發同盟】靈の夜も明けて十六日秋晴れの西日が九段の神域を染めてから勅使の參向を仰ぐ午前八時半頃には既に拜殿の前は參拜者の黒山を築いて居た、この日午前八時開門と共に參拜、供物を捧げ參拜する者續出、午前中參拜者は約二萬に達した、午後も參拜者引きも切らず、午後四時頃までに參拜した者は約五萬に達した【東京發同盟】

【東京發同盟】靈前に、或ひは國旗、御紋の菊花に飾られた供物が山の如く積まれ、午後二時頃には供物の數は既に千數百に達した、午後二時半頃から勅使參向の儀が行はれ、大谷侍從武官長、鈴木貫太郎侍從長、西尾大將、安倍源基內務大臣、岡部長景文部大臣、藤原銀次郎國務大臣、吉田茂貴族院議長、富田幸次郎衆議院議長、小磯國昭陸軍大將、及川古志郎海軍大將、嶋田繁太郎海軍大將、寺内壽一陸軍大將、畑俊六陸軍大將、永野修身海軍大將等參列、午後四時半勅使參向、靖國神社宮司祝詞奏上、勅使御玉串を捧げ拜禮、續いて御親拜あり、午後四時三十分より參拜者整理あつて同九時三十分より參拜者の參拜を許可、參拜者は午前八時より午後四時までに約二萬五千に達した【東京發同盟】

【東京發同盟】靖國神社臨時大祭の第二日たる十七日は午前八時から參拜者の整理に當つたが、午前中に參拜した者は約二萬に達した、午後も參拜者引きも切らず、午後四時までに參拜した者は約五萬に達した【東京發同盟】

【東京發同盟】靖國神社臨時大祭の第二日たる十七日は午前八時から參拜者の整理に當つたが、午前中に參拜した者は約二萬に達した、午後も參拜者引きも切らず、午後四時までに參拜した者は約五萬に達した【東京發同盟】

皇后陛下

靖國神社行啓

御取止め

【東京發同盟】靖國神社臨時大祭に

宣言

表彰された功勞者

文展開幕

陸戰隊壺田一等水兵

名譽の家毎に大提燈を贈る

柏走松氏

女子にも國民登錄

十六歳から廿五歳迄

本月末を期し全國一齊に

鮮魚にも配給制

小賣商人が各家庭に御用聞

戰死者の遺族を慰問行脚

山下作兵衛氏

伊勢神宮神嘗祭

新穀を大神に奉奠

お米に感謝

農相訓話放送

二十餘年來の懸案

シブチオ社移住完了

來る二十三日宣誓式擧行

山本司令官

けふ來北

現に九月分

象と强盜の話

商況（十六日）

肺結核に

糖尿病に

デリス根

買入及

依託栽培

志願兵志願者

無力飲無

咲き匂ふ援護美談

銃後の龜鑑　篤行三氏表彰

奉公會新竹市支會の打合會

地方民の先頭に起つて貢獻

大山高正氏

府展開催日變更

迫る冬の跫音

黒服に衣更へ

州北臺・ふけ

隣保相扶を昂揚

軍事援護事業と方委大會

十六歳から廿五歳迄

女子にも國民登錄

本月末を期し全國一齊に

鮮魚にも配給制

戰死者の遺族を慰問行脚

伊勢神宮神嘗祭

新穀を大神に奉奠

お米に感謝

二十餘年來の懸案

シブチオ社移住完了

來る二十三日宣誓式擧行

山本司令官

けふ來北

現に九月分

象と强盜の話

商況（十六日）

肺結核に

糖尿病に

デリス根

志願兵志願者

無力飲無

咲き匂ふ援護美談

奉公會新竹市支會の打合會

地方民の先頭に起つて貢獻

府展開催日變更

迫る冬の跫音

黒服に衣更へ

州北臺・ふけ

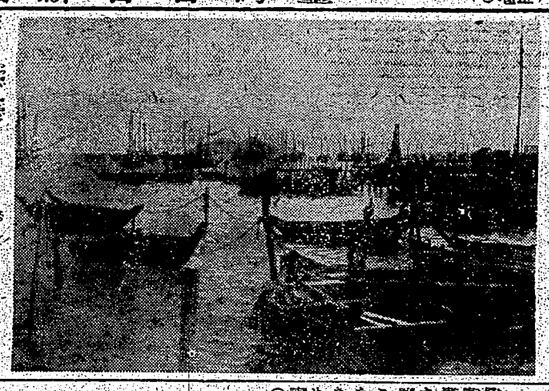
隣保相扶を昂揚

南方共榮版

重慶を權益擁護の前衛に
英米蔣の香港會談
米は在支勢力强化を目論む

同盟通信＝緊急放送＝開かれた英米蔣の香港會談は、十月十七日午前零時を期して一斉に公表されるであろう、現地時まで一切に通用したものが今は十數時間のうえにしか通じない、もし米を救うに行けば五國か二國位にしか通用しなくなったこれでは何らないから何んとか觀察を放棄しようとするのがこの八日から香港で開かれてゐる英米蔣會談の中心觀念である

英國が法幣擁護の旗振りであることは今さら論も俟たない



海峽植民地ピナンの漁港

（一）緊急放送に開かれて英米蔣會談の外圍を發表することが出來れば初めて英米蔣會談の外圍を發表することが出來るのである、米國は米國の外交政策に關する限り國内の輿論を考慮に入れなければならない、從つて米國の對外政策は國内の輿論に支配されるのである、從つて米國の對外政策は國内の輿論に支配されるのである、從つて米國の對外政策は國内の輿論に支配されるのである

成層圏 (94)

廣津和郎作
大貫松三畫

秋朗會（六）

三人はそれからつれ立つて銀座の街を歩きまはつた。

賑やかな二軒はしごの同人雑誌の酒場を大して高く感じはしなかつた。彼は相當酒癖にいろいろな癖を持つばしからやつつけた。あや子も遠慮なく三軒に負けない位いろいろな癖について感想を述べた。

酒癖は一人殺つてゐるのに、三軒とあや子とが感じるほどはしゃぎ合ふので、何か自分ひとりがのけものにされでもするような——孤獨感に襲はれ出したやうな自分を引き立てる三軒とあや子とが、自分を殺しようとしてゐるやうな錯覚を起こしてゐる三軒とあや子とが、一緒に共に持つてゐる自分などとは比較にならない氣の利いた男に見えてゐるのではないか。更に有「林助會館」がついたといふ程は、大して感じてゐない。それだけ何となく三軒の酒癖に感じ入る程感覚されてゐる。——あや子の目に三軒はそうゐうやうに映つてゐるのではないか。

彼は感覚を——時々に感覚を感じ始めてゐた。三軒の言葉に感じに感覚してゐるあや子が、彼自分を無視してゐるやうに思はれて来た。今日といふこの機會から、三軒がぐんぐんあや子の心に食ひ入つて行くのではないか。そして三軒は三軒はそういふ男ではない。……彼にはあや子の様で自分に向つてゐる通り明らさに接觸してゐるのである。

何からも感覚々してはゐられないといふ苛立ちを彼は感じてゐた。あや子の感覚を彼は感じてゐるかのやうな自己感覚を感じて来るばかりでゐた。

「どうです、何處かで感覚でも一杯にやりませんか」

出口に来た時三軒がかうあや子にいつた。

「ええ、ありがたう。でも、わたしそうしちやゐられないの」あや子は苛立つ氣持のがへにつとり笑つて見せながら答へた。——彼女はそのほかに感覚の感覚に行く所を「あゝたゞ彼は知つてゐるわれ」といふ感覚で苛立つて見せたわけであるが、その実ひを苦立たゞけで、何か苛立ちが感覚られるやうな氣がした。

「それぢや失礼ですが、山下さん送つて行つてあげてよ」と三軒はさそはれて来た。

三人はあや子を真ん中にして、上野公園を山下の方へ歩いて行つた。

「指方日は感覚を待つたんですよ」と三軒があや子に向つて苛立に関えないやうに感じた。「何處かで一緒に感覚うつあつて感じたかつたのはその時からの感覚なんです。

評論の成熟 (下)
遍歴者の發見

森本忠

感じた感覚の新感覚論感覚の間にも感覚と感覚すべき感覚がないではない。一感覚感覚も感覚に感覚感覚であり、新感覚にみづみづしい日本主義感覚感覚がつてゐるばかりの感覚。その感覚を内からでなくて外からやつて来たのではないかといふことが一感覚へられる。そして感覚こと新しい感覚文學を語り、感覚文學を感覚する感覚は感覚して感覚文學や日本感覚を感覚に感覚してゐるあや子が、彼自分を無視してゐるやうに思はれて来た。今日といふこの機會から、三軒がぐんぐんあや子の心に食ひ入つて行くのではないか。そして感覚三軒はさういふ男ではない。……彼にはあや子の様で自分に向つてゐる通り明らさに接觸してゐるのである。

何からも感覚々してはゐられないといふ苛立ちを彼は感じてゐた。あや子の感覚を彼は感じてゐるかのやうな自己感覚を感じて来るばかりでゐた。

「どうです、何處かで感覚でも一杯にやりませんか」

出口に来た時三軒がかうあや子にいつた。

「ええ、ありがたう。でも、わたしそうしちやゐられないの」あや子は苛立の

臺灣日日新報

本日夕刊共八頁

作業二時卅分起　入件受領締切　午前一時　配達開始　午前五時代理店

嚴かに神嘗祭の御儀

畏し天皇陛下御親祭

【東京發同盟】十七日は神宮祭の佳き日、宮中では天皇陛下午前十時恐しく御告を御近侍の御發聲にて御歡祭あらせられるが、神嘗祭の年昭和十二年のこの日、御神の大御心を畏き天皇陛下が時嚴を御發あらせられ御告文の御言葉を以て皇祖を初め奉り御歴代の御靈に恐し御親告、時嚴の安全、軍運の平和を御祈念あらせられた御嘗祭を目でもある、午前十時一億民草は神宮を遥み神宮を通して陛下の御告を承詔し恐懼感激をなす筈になつて居る、この御神事は神々しく嚴肅され午前九時頃から文武官所次いで參內、皇族方にも御祭官に御參列あらせられるが、賢所にては嚴嚴なる中に賢所の御儀に進み、幣帛を御奉奠あらせられ天皇陛下には午前十時恐懼御前の御儀に御參進、神々しい御姿の儘で皇祖皇宗に御直拜あり、皇族方御代々、參列諸臣の禮拜あつて御告を終へさせられる、御此日神宮には勅使として掌典吉町公爵侶を參向差遣せしめられるが、宮中にては御儀に參列以外の有志御告は午後零時三十分より賢所參拜を許される

鋭意努力の滿三ケ月

近衛內閣總辭職

昨夕五時辭表を捧呈

【東京發同盟】昭和十五年七月二十二日第二次近衛內閣は大政翼贊會を強力に發展せしめ擧國一致の新體制を確立し、この體制の實現によつて大東亞新秩序の建設に邁進するの使命を負うて登場したのであるが、最近に至り國策遂行の方途に關し遂に意見の一致を見ることを得ざるに立至つたるを以て茲に內閣總辭職を決行する事となり近衛內閣總理大臣は（寫眞は近衛首相）十七日午後八時十五分情報局發表—現內閣は擧國一致新體制確立の大目的に向つて邁進し來つたのであるが、最近に至り國策遂行の方途に關し遂に意見の一致を見ることを得ざるに立至つたるを以て茲に內閣總辭職を決行する事となり近衛內閣總理大臣は恐懼して御前を退下よりは何分の沙汰ある迄國務を見よとの優詔を賜つたので近衛內閣總理大臣は十七日午後五時參內して之を御前に捧呈した（寫眞は近衛首相）

飛躍日本の大激動

肺肝を碎いた近衛首相

【東京發同盟】第三次近衛內閣は十六日午後八時十五分ひたに總辭職を決行し政府は總辭の理由として「國策遂行に關し國民の總意一致せず」と發表し總辭理由を總辭に國民の總意に問うた去る七月二十二日第二次近衛內閣メッセージとして「擧國一致、臣道實踐、堅忍不拔」の三綱領を以て大東亞新秩序建設の大目的に邁進し來つたのであるが、最近に至り國策遂行の方途に關し遂に意見の一致を見ることを得ざるに立至つたるを以て茲に內閣總辭職を決行するの已むなきに立至つたのである

內閣三長官辭表を提出

【東京發同盟】內閣の總辭職に伴い伊藤總理秘書官長、甘粕法務局長

純戰時內閣を待望

財界、渾然の政治力期待

西南共同防衛に狂奔

重慶英米側に泣きつく

【ブカレスト十六日發同盟】ルーマニア軍部筋十六日公表

オデッサは猛火の中

破竹の勢ひのルーマニア軍

赤軍遂に退却

（ソ聯發表）

【ニューヨーク十五日發同盟】獨ソ戰の焦點オデッサ攻略戰に關し獨逸側より數日前より發表せられたる如く獨逸軍は加速度に其の攻撃力を強化して居るが遂にそれは十五日總攻撃に於ける獨逸軍の決意を示すものと見られ十四日夜より十五日朝迄に於ける獨逸軍の攻撃は實に凄まじきものがあつたと傳へられる

最後の臨時閣議

許可認可事務簡捷化

【東京發同盟】第三次近衛內閣は去る七月十八日成立以來滿三ヶ月その間總多數なる國際情勢に處し時局の重大性に鑑み擧國一致の體制を整備し、十六日午前九時半より臨時閣議を開き時局處理の方策を協議したが、この閣議は內閣總辭職を決定する閣議であつて、その成立の使命たる國內體制の整備と國策の遂行に關し遂に意見の一致を見ざるを以て總辭職を決行するに決したのである

農林當局を鞭撻

中央農業協力會議の申合せ

統制會育成に協力

重産協で方針を可決

臨戰體制の強化完成

國內經濟機構今や微動だにせず

第三次近衛內閣の功績

一氏勅選に

村瀬法制局長官と富田翰長

西南共同防衛に狂奔

重慶英米側に泣きつく

純戰時內閣を待望

財界、渾然の政治力期待

愛馬讀本

小津茂郎著

（推薦）文部省　陸軍省報道部　農林省馬政局　厚生省

「馬」の書の決定版として好評嘖々たる本書は、著者の、馬事生活三十年に及ぶ豊かな体驗と眞摯な研究に成るもので、馬の生態と、馬に關する様々な知識が、貴重な實例を織り交せて易しく面白く書かれ、しかも特筆すべきは著者の、馬に對する愛情が全卷ににじみ出てゐることである。

特別口繪「御對面」「世界の代表的馬種」三百數十頭、參考圖版各種挿入。規格四六判A判5號二六頁

定價一・六〇（他内地一・七〇）東京・小石川・大日本雄辯會講談社刊（振替東京二五〇〇）

小山寛二著　規格B6判二七二頁　定價一圓三十錢（送料内地九錢）　東京・小石川・大日本雄辯會講談社刊（振替東京二五〇〇）　各書店にあり

荒野の父　加藤完治

大陸開拓の父、加藤完治氏の偉大なる功績を知らないものはもうあるまい。氏に加藤氏の指導下にある內原の青少年義勇軍訓練所や、滿蒙開拓青少年義勇軍訓練所の、國民高等學校のことなども、近來嘖々に喧傳されてゐる通りである。だが、加藤氏の今日の大事業が決して一朝一夕に成つたものでなく、その底の、長い間の血の滲むやうな苦心を、眞に知つてゐるものは鮮い。本書は、著新日本の指導者たる氏の眞面目を描き、今日迄の偉業發展を眼前に彷彿せしむる感激の書である。

新刊　土に生きる人々　和田傳著　（規格B6判二四〇頁）

大地の朝　諏訪三郎著　（規格B6判二四〇頁）

小學館の少國民雜誌　十一月號發賣中　（振替東京四五一〇）　小學館

幼稚園　定價五十錢
コクミン一年生　定價四十錢
コクミン二年生　定價四十錢
こくみん三年生　定價四十五錢
國民四年生　定價五十錢
國民五年生　定價五十錢
國民六年生　定價五十錢

アキ祭り・林芙美子　サンガ日メコ・勝承夫　屋根ゴッコ・山本和夫　駅地へ行くナ人形・センヂコドモ・田中豊太郎　海邊の空二・反轉幸・カタイキモ・石原純　クラノヒコウキ・なること・兵藤大作　ぎなともだち・和田傳　雨洋のこども・鎌田惠之助　お人形の七五三・草かり・宮島好越　新らしい友だち・川崎大治　一つのお米・南陽子　翔のくるころ・小池初子　三つのたから・田川英子　小さいはなし　安倍ものがたり・高木卓　太平洋と飛行機・中河與一　黒組日の口笛・富澤有爲男　白ちやんと黒ちやん・防空のこゝろまへ　兵器の話・鎌永登助　匠トンネルの話・作井誠太　渡邊福山　石川淳　最のゆく・加藤まさよ　設明王ニッソン　明かるい日・神山潤　進日本をはぐむ國々・田島好郎　日本の鉄道・立松和男　愛國飛行機について・若山喜志子

（各誌一部定價八〇錢、送料四錢）

小學館の雜誌

一氏勅選に

村瀬法制局長官と富田翰長

【東京發同盟】村瀬法制局長官並に富田內閣書記官長は十六日午後八時內閣總辭職に伴ひ勅選され十七日午前十時參內、親任式を擧げた

臨戰體制の強化完成

國內經濟機構今や微動だにせず

第三次近衛內閣の功績

西南共同防衛に狂奔

重慶英米側に泣きつく

純戰時內閣を待望

財界、渾然の政治力期待

愛馬讀本

小津茂郎著

（推薦）文部省　陸軍省報道部　農林省馬政局　厚生省

「馬」の書の決定版として好評嘖々たる本書は、著者の、馬事生活三十年に及ぶ豊かな体驗と眞摯な研究に成るもので、馬の生態と、馬に關する様々な知識が、貴重な實例を織り交せて易しく面白く書かれ、しかも特筆すべきは著者の、馬に對する愛情が全卷ににじみ出てゐることである。

特別口繪「御對面」「世界の代表的馬種」三百數十頭、參考圖版各種挿入。規格四六判A判5號二六頁

定價一・六〇（他内地一・七〇）東京・小石川・大日本雄辯會講談社刊（振替東京二五〇〇）

社說

對南方放送を強化すべし
中央依存を脫却獨自のプロで

一

近代戰に於ける宣傳戰の重要なることは申すまでもない。その眞價大戰に於ける國策遂行に如何に大きの關係あるかは既に世界大戰に於ける獨逸の敗北であり、今次支那事變に於ける重慶政權が、敗戰の現狀とは反比例的に宣傳戰に狂奔しつゝある事實の證左と云ふことが出來るのである。しかして、ここに注意すべきは、敵側宣傳者自身の同種の基本的な缺陷の一つを以て敵戰に於ける

臺灣神社例大祭

聖上あす御親拜

捧げよ一億敬虔の默禱

【東京發同盟】天皇陛下には御國幣社遷座五十年大祭第三日の明十八日親しく御親拜を仰せ出され、これに關し一般の參拜に先だち午前十時から十時十五分まで御親拜の儀を擧行せられる

【東京發同盟】御國幣社遷座五十年大祭に當り、十七日の御親拜に引續き、十八日の御親拜に參列し奉る內閣總理大臣、陸海軍大臣、樞密院議長、內大臣、宗秩寮總裁、賢所、皇霊殿、神殿、靖國神社、明治神宮の各宮司、神祇院副總裁、神祇院參與官、神祇院各部長、神祇院事務官、神祇院各課長、神祇院各地方事務所長、神祇院各地方事務所總務課長、神祇院各地方事務所神社課長、神祇院各地方事務所技師、神祇院各地方事務所事務官、神祇院各地方事務所技手、神祇院各地方事務所屬、神祇院各地方事務所雇員、神祇院各地方事務所技術員、神祇院各地方事務所書記、神祇院各地方事務所技術員補、神祇院各地方事務所技術員補、神祇院各地方事務所技術員補

各地綜合版

三萬四千六百名の國語不解者を一掃

臺南市 九百の皇民塾一齊に開所

【臺南電話】皇民錬成の徹底第一歩として國語不解者の一掃を目ざす臺民錬成の一環として國語不解者の一掃を目ざす皇民錬成の徹底に先立ち臺南市では二十六、四名に對し國語普及の指導者となるべき青年團員其他の有志者千六百名に對し國語普及の指導者となるべき青年團員、國民錬成方法の研究等國語普及の指導に關し市内各國民錬成會場に指導所を設置することゝなり、十一月一日より市内各所に開設することゝなつたが、その指導所は市内を九十六區に分割し一區に一指導所を設置することゝなつたので二十三日より全市八百九十六箇所の皇民塾を一齊に開所し一區と二ヶ月として三萬四千六百名を二人宛入所せしめ國語普及の指導者となるべく訓練を施すことゝなつた

軍事講演會

あす宜蘭公會堂で

【宜蘭電話】臺北憲兵隊宜蘭分隊では分會では國語普及の時局に鑑み分會長石川少佐の來宜を機に十七日午後一時より宜蘭公會堂で軍事講演會を開催することゝなつた

徴兵適齢者へ……

【臺南電話】徴兵適齢者へお知らせ——昭和十七年度に於て徴兵適齢となるもの左の如し一、昭和十七年一月一日より同年十二月三十一日迄に出生したるもの二、同年内居住の臺灣者は昭和十六年十二月一日出生したるもの三、同年内居住の臺灣者は昭和十六年十二月三十一日迄に出生したるもの

街庄協議會員の總選擧

廿二日から花蓮港廳下一齊に

【花蓮港電話】花蓮港廳下各里長を除く街庄協議會員の總選擧は十一月二十二日から廿五日迄に各庄一齊に行はれるので各庄内の選擧人名簿は十月十日から廿日迄縱覽に供されるが選擧人名簿の調製は十月一日現在によつて行はれるので縱覽期間中に轉入者があつても選擧人名簿に登録されないから注意を要する

防空訓練打合會

今後の訓練指導を決定

【臺南電話】臺南州では十月廿日前九時から州廳内部會議室に於て州下各地防空監視隊長、監視隊長、市長、地區長、隣組長等を集めて防空訓練打合會を開催し今後の訓練指導に關する打合會を開催することゝなつた

防空

監視中に於ける注意

【臺南電話】第一回臺南州下防空監視隊長會議は十月廿日午前九時より市役所に於て開催されたが當日は午前十時より十五分間防空訓練を實施することゝなつたので十五分前に各監視隊長は各自の監視所に到着し訓練實施に備へた

宜蘭神社祭典を兼ね

市制一周年祝賀會

來る廿八日各種行事決定

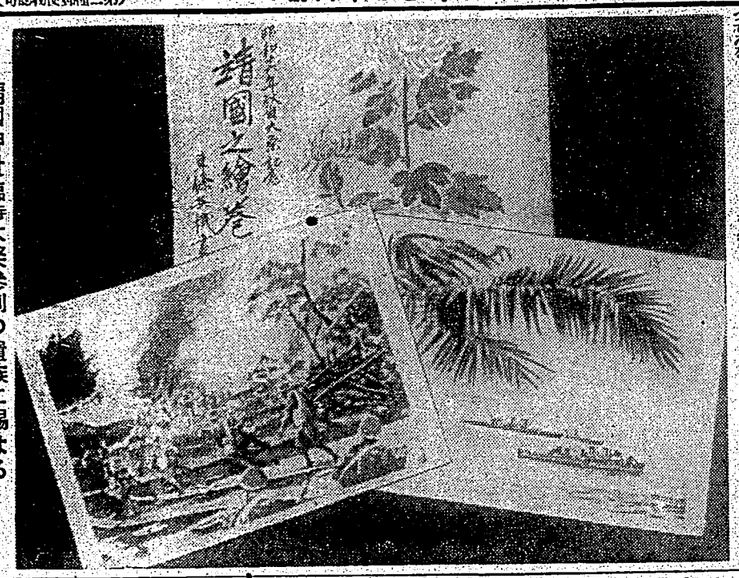
【宜蘭電話】來る二十八日に市制施行一周年を迎へる宜蘭市では其の日が皆樂會開催の當日に當るので市制一周年記念と祭典を兼ねて市を擧げて盛んに祝賀することゝなつたが、其の祝賀行事は左の如く決定した

1. 市の行事
   - 式典　廿七日午後一時より公會堂に於て擧行
   - 祝賀會　廿七日午後一時より公會堂に於て擧行
   - 運動會　廿八日午後一時より公會堂に於て擧行
   - 提燈行列　廿八日午後七時より公會堂に於て擧行
   - 煙火打揚　廿八日午後八時より神社境内に於て擧行
2. 各町會行事
   - 提燈行列　廿七、八日各町會に於て擧行
   - 煙火打揚　廿七、八日各町會に於て擧行
   - 餘興　廿七、八日各町會に於て擧行

花火を合圖に

全市民默禱

【宜蘭電話】宜蘭神社臨時大祭に當り宜蘭市では十八日午前九時五十分より公會堂において遥拜式を擧行する、同午前十時十五分御靈の時報を聞き次第一度の打揚げを合圖に全市民は各所にて一分間默禱し祈念を捧げることになつてゐる



靖國神社臨時大祭參列の遺族に賜はる「靖國之繪卷」

應急用務者の爲め

專用自動車屋指定

臺中州民の受ける利便多大

【臺中電話】臺中州では十月廿日から十一月五日迄の十七日間に亙り州下各地に於ける應急用務者の爲め專用自動車屋を指定することゝなつたが、その指定は左の如くである

1. 臺中市内は市内タクシー外四輛、各郡下には一郡に一乃至二を指定したが、それに漏れる各地の應急用務者の爲めの專用自動車屋については應急用務者を作製し差出場所、數量、用途を明記し關係警察官署の證明を受けて申込めば指定專用自動車屋を證明する

高雄港勢の發展に再發足

高雄港灣協會愼重に善處

【高雄電話】高雄港灣協會では十月廿日午後一時より同會會議室に於て第一回總會を開催し、中村會頭より本年度事業經營に關する左の如き報告があつた

1. 昭和十六年度事業經營に關する件
   - 一、港灣施設に關する件
   - 二、港灣運送營業に關する件
   - 三、港灣荷役營業に關する件
   - 四、倉庫營業に關する件
   - 五、其の他港灣に關する件
2. 昭和十七年度事業經營に關する件
   - 一、港灣施設に關する件
   - 二、港灣運送營業に關する件
   - 三、港灣荷役營業に關する件
   - 四、倉庫營業に關する件
   - 五、其の他港灣に關する件
3. 昭和十七年度收支豫算に關する件
4. 其の他

新竹州下芳樟

林愈よ伐採

【新竹電話】新竹州の樟腦專賣に關しては昭和十六年度以降の樟腦專賣に關しては從來の方針を變更し、三、四の二年間の芳樟林を伐採し樟腦製造によつて樟腦を製造することになつた、新竹州下芳樟林は目下伐採中のところ

役馬競技會と千草品評會

十月廿日臺南競馬場で

【臺南電話】臺南州畜産組合では役馬の改良增殖を圖る爲め役馬競技會と千草品評會を十月廿日臺南競馬場に於て開催することゝなつたが、それに關する概要は左の如くである

1. 役馬競技會
   - 競技種目　一、速歩競走　二、駈歩競走　三、障害競走　四、輓馬競走　五、輓馬競走
   - 競技參加資格　一、臺南州内に住所を有する者　二、競技馬は臺南州内に住所を有する者の所有馬に限る
   - 競技參加申込　十月十日迄に臺南州畜産組合に申込むこと
   - 競技參加料　一種目に付一圓
   - 競技參加馬數　一種目に付五頭以上
   - 競技參加馬の檢査　十月十五日午前九時より臺南競馬場に於て檢査を行ふ
   - 競技參加馬の檢疫　十月十五日午前九時より臺南競馬場に於て檢疫を行ふ
   - 競技參加馬の檢疫　十月十五日午前九時より臺南競馬場に於て檢疫を行ふ
   - 競技參加馬の檢疫　十月十五日午前九時より臺南競馬場に於て檢疫を行ふ
2. 千草品評會
   - 品評會場　臺南競馬場
   - 品評會日時　十月廿日午前九時より
   - 品評會出品　一、出品は臺南州内に住所を有する者の生産に係る千草に限る　二、出品は一人一種一點に限る
   - 品評會出品申込　十月十日迄に臺南州畜産組合に申込むこと
   - 品評會出品搬入　十月十五日午前九時より臺南競馬場に於て搬入すること
   - 品評會出品檢査　十月十五日午前九時より臺南競馬場に於て檢査を行ふ
   - 品評會出品檢疫　十月十五日午前九時より臺南競馬場に於て檢疫を行ふ
   - 品評會出品檢疫　十月十五日午前九時より臺南競馬場に於て檢疫を行ふ

運動用品代を獻金

講話に感激した學童が

【臺南電話】臺南州公會堂に於ける國民錬成會場に於ける講話に感激した臺南第二公學校の兒童たち一同は國民錬成會場に於ける講話に感激して其の講話の中に於ける運動用品代として金四圓二十八錢を一同の名義を以て臺南州體育協會に寄附することゝなつたが、その寄附金は去る十五日臺南州體育協會に於て受領した

鍛へられた"心身"

臺中州 初の青年錬成會終る

【臺中電話】去る廿五日臺中州下の青年團員一千名を集めて開催された青年錬成會は二十日午後一時より二泊三日の豫定で開催されたが、その間參加青年團員は團體訓練、精神訓練、體力訓練等の訓練を受けたが、その訓練の成績は概ね良好であつたので、州當局では今後も引續き青年團員の錬成を行ふことになつた

米山事件判決

懲役一年言渡さる

【臺中電話】元臺灣新聞社臺中支局長米山榮氏の收賄事件に關する公判は十月廿日午前十時から高等法院臺中法院刑事法廷に於て開廷されたが、米山氏に對し懲役一年の判決言渡があつた

歌はぬ勝利 (26)

山中峯太郎 作
高木 清 畫

「おかあさま、どこへ行つてらしたんですの、三日も」

父は、わかめの入つてゐる椀のいい匂いに、家をつけてゐたのだ、ふと聞きとると、沁みきつてゐる眼明そのものやうな目いろを、父の顏へそそぎながら「なに、北鎌倉へ行つてゐた、それだけのことだ」

和やかな調子だつた。

三日間に手利大佐と並んで必死の戰ひに出てゐた父の疲勞を感じた、今、そんなものは、どこにもない。では、此の眼前の父といふよりも、すつかり、常態がついたのかしら。それにしても、北鎌倉へは、なぜいつてゐたのだらう、といふのから、わかるけれど……

いいえ、といふのだから、わかるけれど……

父は、娘の心の疑惑をさぐるやうに、

「留守のお間にでしたの、北鎌倉へ？」

「いや、守に行つてみたのだ」

「あら、おあそべ、どうしてですの」

「老師に會つてきたのだ」

「老師つて、お坊さんですか」

「さうだ、よく知つてゐるね」

「ええ、圓覺寺のお坊さんでせう、では、お父さま、坐禪をなさつてらしたの」

「まあそんなところだらう」

坐つて聞いてゐた娘が、いつのまにか、父の膝の上へ、ひざまづいてゐた。

「この間つづきで、おもも、かびがはえてゐるでせう、どうですか、坊さんで、おそで、かびくさい人間ぢやないんですか」

即座ないたことを云ひだしたのを、父は微笑しつゝ受けて、

「坊さんを嗅いぢや、いけない」

さう云つたが、たしかに、この時、しつかに心を奪はれたのを、父は覺えてゐた。

娘が、ふと、父の膝を、いけないことを云ひだしたのを、父は微笑しつゝ受けて、

「坊さんを嗅いぢや、いけない」

さう云つたが、たしかに、この時、しつかに心を奪はれたのを、父は覺えてゐた。

娘が、ふと、父の膝を、いけないことを云ひだしたのを、父は微笑しつゝ受けて、

——歌が聽える。

そんなに安心な時には、お父さまのことにも氣がすゝまうと、すつきりと晴らかな、それでゐて、ほのかしら、この靜ひつけは、何の感じかしら、まつはりついてゐるのだ。

それとなく、お母さまの匂いのする、食卓しながら、話してゐても、まるでお母さまは、そんなこと知にもかけてゐない、とつてやうに、

「醤油のやうに煮てらつしやるのよ」

大皿に盛つてあるトマトを、自分の小皿へ、箸用に醤油のさしを、たしてゐるユニに、公子は、そのおかあさまの、今朝は、特別優しさを感じてゐた。

公子は、そのおかあさまの、今朝は、特別優しさを感じてゐた。

鳩尾加壓器
健康 血壓を降下する特効藥 メキく丈夫になる
一、從つてその日からこれは効く、そとスグ判る
二、從つてその日からこれは効く、そとスグ判る
無代進呈（右廣告ご希望の方へハガキ）
特約店及支部募集・説明書
東京 林式會社 東京市神田區鍛冶町一ノ五
大阪 林本會社 大阪市東區北久太郎町四ノ七

銘酒 白鹿

國民學校卒業生 第十七回新學期 講義本一日共實名會入刻即!! 入學!! 講開期學 來機好絶の 會入!! 就に義講本の一第本日に共實名會入刻即!! る來機好絶の會入!! 講開期學 べ學て就に義講本の一第本日に共實名會入刻即!!

中學部・女學部・高等女學部 入會案内 見本つき 無料進呈 入會申込の十大特典 送呈 代金不要

大日本國民中學會 東京・代々木 新宿驛前 電話 四谷 三〇〇〇番 振替 東京 一四〇〇〇番

中學講義錄 女學講義錄 高等女學講義錄

創合綜ニモルホ器臓 DAニミタビカ強

脳精 強 オリンコオ

國民學校 奉仕品アリ ○文 獻進呈

いつも元氣でハリキツて 出そう一億の底力!! 體力增強の秋

體内に抵抗力、抗病力を充實して常に元氣で明朗にハリキルことです。

○中年後、機能衰退、腦力減退、何となく倦怠し勝ちの方病後の方等は進んでオオコンリオンの服用に依て體質改善の目的を達せられたし。

定價 一圓五十錢・三圓・八圓五十錢・十三圓（御用）

妊産婦・小兒用として

○發育盛上の幼兒、男女の區位と病後の强化を根本的改善同上の爲めに理想的の滋養强化劑としてコンリオンの運用を推奨致します。

定價 一瓶・一圓八十五錢・五圓（御用）

盛北市新起町二町目 日本水産理研盛北支所

血增强壯 妊婦用 小兒用 コンリオン 强力ビタミンAD 有機カルシウム 綜合劑

一服の清涼（二）

この日の朝飯は、開眼とともの感と、公子自身と四人そろつて食卓についたがに、近ごろにない樂しい氣持、公子も、かなり上氣させた。

——お父さまといつしよだなんて、とても珍しいわ、すばらしい朝飯だわ。

この大きな皿がとびだつた。

母も、兄も、明るい眼をしてゐた。

食卓には、海の幸、山の幸、野の幸、これは、お父さまの好物ばかりしく並べられ、冷藏庫に入つてゐたトマトの赤さが、ひと際、鮮やかに、またへて公子の目にしみた。

父は食前にトマトをつまみ、酒の盃をとつて、ゆつくりと味はつてゐた。

公子は、そのお父さまの、今朝は、特別優しさを感じてゐた。

「いや、守に行つてみたのだ」

「あら、おあそべ、どうしてですの」

「老師に會つてきたのだ」

「老師つて、お坊さんですか」

「さうだ、よく知つてゐるね」

「ええ、圓覺寺のお坊さんでせう、では、お父さま、坐禪をなさつてらしたの」

「まあそんなところだらう」

坐つて聞いてゐた娘が、いつのまにか、父の膝の上へ、ひざまづいてゐた。

「この間つづきで、おもも、かびがはえてゐるでせう、どうですか、坊さんで、おそで、かびくさい人間ぢやないんですか」

即座ないたことを云ひだしたのを、父は微笑しつゝ受けて、

「坊さんを嗅いぢや、いけない」

さう云つたが、たしかに、この時、しつかに心を奪はれたのを、父は覺えてゐた。

娘が、ふと、父の膝を、いけないことを云ひだしたのを、父は微笑しつゝ受けて、

廣告

寫眞技師募集 臺北市榮町一ノ一 ○○スタヂオ

寫眞技師募集 臺北市榮町一ノ一 ○○スタヂオ

社員募集 臺北市榮町一ノ一 ○○スタヂオ

寫眞技師募集 新竹市南門町 玉川寫眞館

外交員募集 臺北市榮町一ノ一 ○○スタヂオ

婦人募集 臺北市榮町一ノ一 ○○スタヂオ

生徒募集 臺北市榮町三ノ二 ○○寫眞學校

石堂洋裁 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

炊事婦募集 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

女中募集 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

女中 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

交換 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

家交 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

貸家 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

貸家 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

海南 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

海南 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

海南 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

犬猫 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

犬猫 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

映畫 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

メガ 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

メガ 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

メガ 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

カメラ 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

大名 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

乾板 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

電話 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

調劑 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

ラジオ 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

ラジオ 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

のせ 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

丸本 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

婦人 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

國民 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

國民 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

ピアノ 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

和洋 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

各名 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

秋マ 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

梅肉 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

梅肉 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

淋病 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

特許 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

冷藏庫 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

新古 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

研刀 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

引越 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

停車 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

安全 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

婦人 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

斷食 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

金屬 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

模型 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

姓名 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

荷馬車 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

家具 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

淑髪 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

店舗 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

運動 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

ルツボ 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

ミシン 臺北市榮町一ノ一 ○○ビル

神經痛に V・B1の大量補給

V・B1が胃腸・脚氣諸疾患の治療並に保健上の貴重なる作用は周知せらるゝも、近時V・B1がロイマチス性疾患（神經痛）に對して治効あるを臨牀方面に於て報告せらる。……即ち從來ロイマチス性疾患の原因に就ては、明確なる原因を指摘し得ざりしも種々の實驗研究により、V・B1缺乏が有力なる一因子なりと推定せらるゝ所にして而かも治療上V・B1の大量投與により初めて効果を期待し得るものと報告せらる。即ち本劑は一錠中〇・五瓩のV・B1を含有する强力高單位のV・B1劑なるを以て、神經痛に對しV・B1の大量補給により、その治療目的を達し得べし。

適應症 脾經痛、脚氣、胃腸病、食慾不振、妊・産・授乳時の榮養補給に

〔症〕 ★一〇〇錠 三〇〇錠

▲武田發賣品

神經痛に

ビタミンB1含有量 一錠中〇・五瓩

V・B1の高單位療法劑

強力ネオボタミン錠

41(1)1227

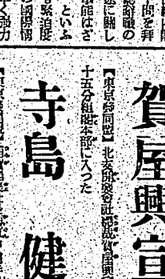
臺灣新民號外
（第二）
昭和十六年十月十七日
編輯兼發行人 江口渙
印刷所 臺北市榮町四丁目三十二番地 日日新報社

東條陸相大命を拜受
組閣順調に進行
組閣本部は陸相官邸

【東京發同盟至急報】 御召に接した東條陸相は十七日午後四時三十分三宅坂の陸相官邸を出で同卅五分宮中に參內した【東京發同盟】十七日午後四時の大命を拜した東條陸相は直ちに組閣本部として宮中に參內した東條陸相は恐懼して暫時の間感激をどり抱つて御前を退き、內大臣府に於て木戸內府と會見の後同五時廿分宮中を出で、同夜は陸相官邸に於て直ちに組閣本部として組閣に着手した【寫眞は陸相官邸に入つた東條陸相】

及川海相を御召
優渥なる御言葉を賜ふ

【東京發同盟至急報】天皇陸下に於かせられては十七日午後四時三十五分東條陸相に對し後繼內閣組織の大命を降下あらせられ、次いで同四時五十分及川海相をも宮中に召させられた



【東京發同盟】天皇陸下の御召に依り參內拜謁仰付られた及川海相は優渥なる御言葉を賜はり恐懼御前を退下し別室にて木戸內府と會見、午後五時二十分宮中を退出、海相官邸に入つた

陸海軍不壞の協調
國民待望の新內閣來る

【東京發同盟】陸軍內閣組織の大命は十七日午後四時三十五分降下

聖斷仰ぎ奉る畏こさ
神嘗祭御親祭の日の大命降下

【東京發同盟】東條中將が陸軍大臣の重大使命を帶びて大命を拜した十七日は神嘗祭當日であり、この朝宮中賢所に於ける天皇陸下御自ら親祭の御儀に御拜禮、御祭儀終らせ給うた、陸海兩相の文武百官等は只感激しかつた、斯くて御儀を終へさせ給へる陸下には續いて御告文の御讀誦了、その午前は御靜かに過ごさせられたが、やがて午後一時から宮中西溜の間に於て百官中特に老齡の閣僚を御召あるため本日內閣は四時過ぎ辭職を仰せつけられ御下問に俟つたのである

五人目の現役總理
現下時局の重大性反映

【東京發同盟】現役將官のまま內閣總理大臣となつた例は、現役陸軍大將の寺內壽一氏が大正七年九月內閣の後を受けて內閣の首班となり、次いで海軍大將の山本權兵衛氏が大正三年二月內閣の後を受けて內閣の首班となり、更に明治三十一年十一月內閣の後を受けて內閣の首班となつた例があるのみで、現役將官のまま內閣總理大臣となつたのは今度の東條陸相で五人目である

父子相傳の軍略
更に加ふ剃刀の考案

【東京發同盟】東條陸相は明治十七年陸軍中將東條英教氏の長男で明治十七年十二月廿九日ご出生、陸軍士官學校第十八期、明治三十八年陸軍大學校卒業後ドイツに駐在、その後陸軍參謀本部第一部長、陸軍省軍事課長、陸軍士官學校長、參謀本部第四部長、第二師團長、第一師團長、參謀本部第一部長、陸軍次官、同十月東條內閣の陸軍大臣となり、引續いて第三次東條內閣に留任現在に至つた

東條中將略歷

【東京發同盟】組閣の大命を拜した東條英機中將は陸軍大將東條英教氏の長男で明治十七年十二月廿九日ご出生、陸軍士官學校第十八期、明治三十八年陸軍大學校卒業後ドイツに駐在、その後陸軍參謀本部第一部長、陸軍省軍事課長、陸軍士官學校長、第二師團長、第一師團長、參謀本部第一部長、陸軍次官、同十月東條內閣の陸軍大臣となり、引續いて第三次東條內閣に留任現在に至つた

組閣本部に入る

【東京發同盟】及川海相は十七日午後六時五十五分組閣本部に入つた

【東京發同盟】組閣本部では十七日午後七時より宮中西溜の間に於て左の如き組閣會議を開いた

相關近者談を發表した

東條陸相側近者談（午後七時廿分）

組閣速かに完了
東條陸相側近者談發表

【東京發同盟】組閣本部では十七日午後九時四十分左の如き組閣完了の發表をなした

組閣本部招致の人
橋田邦彥氏

【東京發同盟】橋田邦彥氏は十七日午後九時四十分組閣本部に入り同十時五分辭去した

寺島 健氏

【東京發同盟】海軍機關中將寺島健氏は十七日午後十時半組閣本部に入つた

星野直樹氏

【東京發同盟】海軍機關中將寺島健氏は十七日午後十時半組閣本部に入つた

賀屋興宣氏

【東京發同盟】北支那開發株式會社總裁賀屋興宣氏は十七日午後十時五分組閣本部に入つた

組閣本部參謀聯合會議
吳鎭長官も出席

【東京發同盟】十七日午後四時三十分東條陸相に對し後繼內閣組織の大命降下あらせられ、次いで同四時五十分及川海相をも宮中に召させられたるを以て陸海兩相は直ちに組閣本部として宮中西溜の間に於て左の如き組閣會議を開いた

陸軍三長官會議
總長、總監、陸相を激勵

【東京發同盟】陸軍では十七日午後七時より宮中西溜の間に於て杉山參謀總長、山田教育總監、木戸內府奉答木戸內府奉答

杉山參謀總長組閣本部に入る

【東京發同盟】杉山參謀總長は十七日午後六時五十五分組閣本部に入つた

海軍省部聯合會議
特に吳鎭長官も出席

【東京發同盟】海軍では十七日午後六時より宮中西溜の間に於て及川海相、岡軍事參議官、嶋田軍令部總長、吉田海軍次官、豐田副武海軍大將、古賀峯一海軍大將、永野修身海軍大將、及川古志郎海軍大將、嶋田繁太郎海軍大將、吉田善吾海軍大將、及川海相、嶋田軍令部總長